

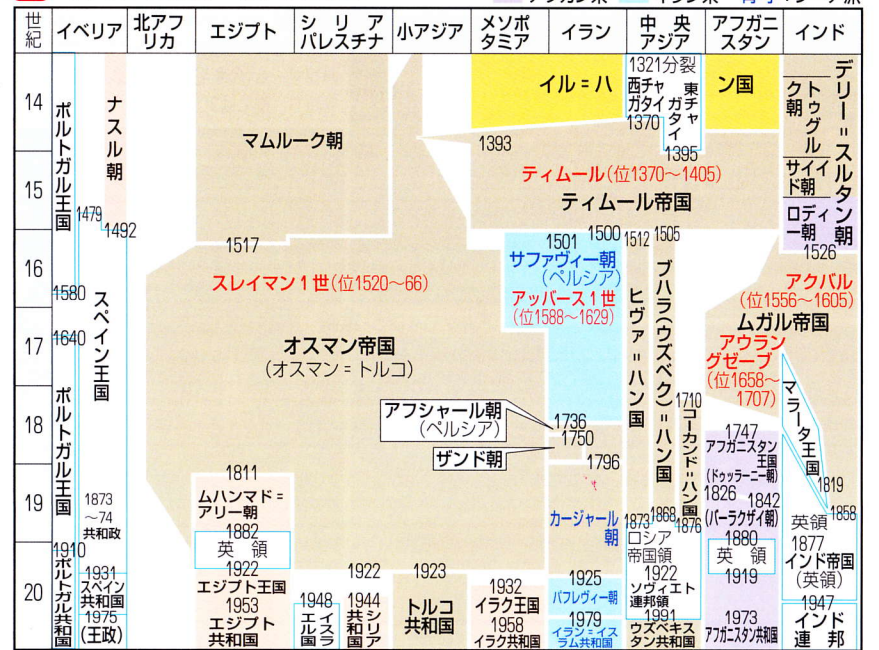
2 イスラム諸王朝の変遷 (P101表)

アラブ系 アフガン系 トルコ系 モンゴル系
イラン系 イラン系 青字: シーア派

1 オスマン帝国とティムール帝国・サファヴィー朝 (P101表)

1299	オスマン1世	小アジアにオスマン帝国建国
1326	ブルサを占領	都とする(～62)
1362	ムラト1世	アドリアノープル遷都 イエニチェリ(新軍)創設
1389	コンヴォの戦い	バルカン同盟軍を撃破
[バヤジット1世] (位1389～1402)		
1396	ニコポリスの戦い	(ハンガリー王ジギスムントを撃破)
1402	アンカラ(アンゴラ)の戦い	(ティムールに捕らわれる)
1413	メフメト1世	即位(～1421)(オスマン朝再興)
[メフメト2世] (位1444～46, 1451～81)		
1453	ビザンティン帝国を滅ぼす	コンスタンティノープルを占領し、イスタンブルと改称、都とする(1457～1922)
1475	クリム=ハン国を保護国とし、黒海制海権を握る	バルカン半島大半を領有 ○トプカプ宮殿造営 (P7写)
[セリム1世] (位1512～20)		
1514	サファヴィー朝を破りタブリーズを占領	
1517	マムルーク朝を滅ぼす	メッカ・メディナの保護権獲得(スルタン=カリフ制の始まりといわれる)
[スレイマン1世] (位1520～66) オスマン帝国の全盛期		
1526	モハーチの戦い	(ハンガリー領有)
1529	ウィーン包囲	神聖ローマ帝国カール5世を圧迫
1536	仏王フランソワ1世	にカピチュレーションを与える
1538	プレヴェゼの海戦	(ヴェネツィアを破り地中海制海権握る)
1571	レバントの海戦	(セリム2世 スペイン海軍に大敗)
1683	第2次ウィーン包囲	失敗
1699	カルロヴィッツ条約	(オーストリアのハンガリー支配確立)
1703?～30	チュリップ時代	(西欧趣味の流行)(アフメト3世)
1839	アブデュル=メジト1世	ギュルハネ勅令発布
	タンジマート	(恩恵改革)開始
1922	スルタン制廃止	オスマン帝国滅亡

ティムール帝国(1370～1500)	
[ティムール] (位1370～1405)	
1370	西チャガタイ=ハン国から自立して建国(都: サマルカンド)
1393	イル=ハン国を征服
1395	キプチャク=ハン国を攻撃
1398	西北インド(トグルク朝)に侵入
1402	アンカラの戦いでオスマン帝国を撃破
1405	中国(明)への遠征途上、オトラルで病死
1409	シャー=モルフ 即位、学芸を保護 ヘラートに遷都
○中国(明)およびオスマン帝国との和解	
1429	ウルク=ベク サマルカンドに天文台を建設
1449	ウルク=ベクの暗殺、衰退始まる
1500	ウズベク族(シャイバーニー=ハン)の侵入により帝国崩壊
パーブルがインドに逃れる	
サファヴィー朝(1501～1736)	
1501	イスマーイール1世 ウズベク族を倒す
シーア派(十二イマーム派)の民族王朝として建国(都: タブリーズ)	
シャー(王)号を用いる	
[アッパース1世] (位1588～1629)	
1598	イスファハーンに遷都
○オスマン帝国よりアゼルバイジャンとイラクの一部を奪回	
○ポルトガルよりホルムズ島奪回	
1736	アフガン人の侵入により王朝崩壊
ナーディール=シャー、アフシャール朝建国	



ティムール

盗賊団の首領時代に受けた矢傷がもとで右手と右足の自由を失った。チンギス=ハンの子孫を自称し、モンゴル帝国の再興を夢み、生涯を戦争に費やした。同時に学者との対話を好み、サマルカンド、ヘラートなどにモスク、学院を造営した。

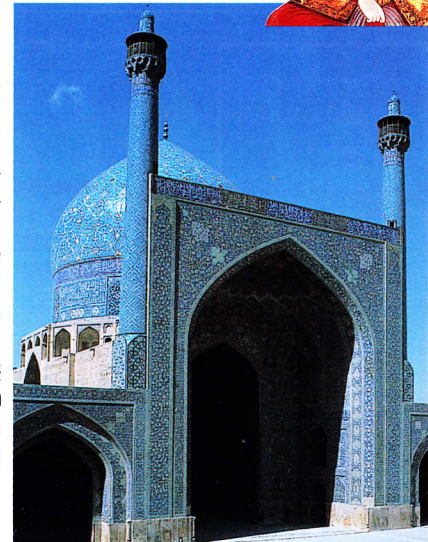


ティムール廟(サマルカンド) 青タイルが時代の特色。高さ34m

ティムール

イスファハーン「王のモスク」

サファヴィー朝のアッパース1世が都イスファハーンの広場(メイダーン)に建設。イスファハーンの最盛期の人口は70万人で「世界の半分」と称えられた。



アッパース1世



トルコ民族の発展

モンゴル高原を故地とするトルコ系諸民族は、シルク=ロード沿いに西進し、カラ=ハン朝、セルジューク朝、オスマン帝国などを建国した。

また、奴隷として購入されたトルコ人傭兵(マムルーク)も優れた戦闘能力ゆえに抜擢され、やがて独立王朝を開く者も現れた。ガスナ朝、奴隷王朝、マムルーク朝などである。

現在、トルコ共和国から旧ソ連、中央アジア諸国、中国の新疆に至る広い範囲に分布するトルコ系諸民族は、彼らの子孫である。

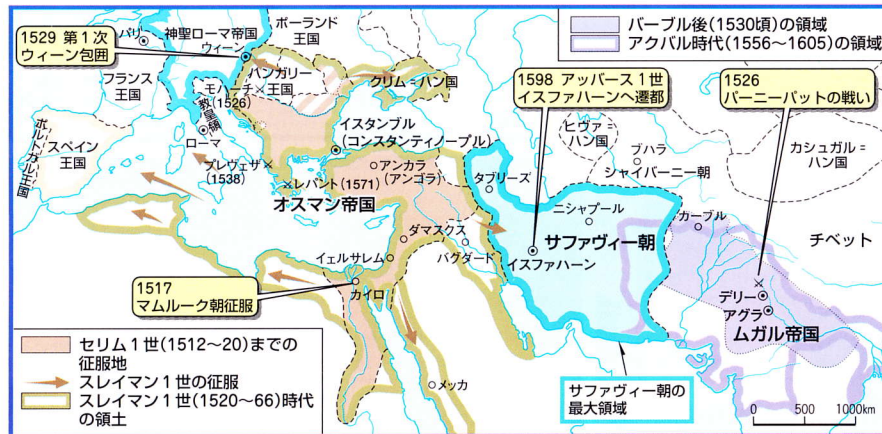
マムルーク騎士



3 15世紀(ティムール帝国の隆盛)



4 16世紀(オスマン帝国・サファヴィー朝の発展)



5 17世紀後半(イスラム3帝国の鼎立)



6 コンスタンティノープルの陥落(1453年)



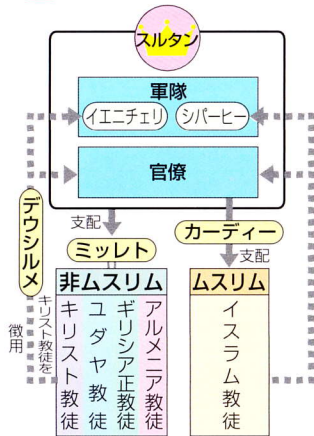
山を越えるオスマン軍
メフメト2世は油をぬった丸太を並べた山道に72隻の軍艦を引いて山越える奇襲作戦をとり、難攻不落のコンスタンティノープルを1453年5月29日に陥落させた。(現在も毎年この日は征服記念日)



スレイマン1世
オスマン帝国最盛期のスルタン。13回の遠征を行い、3大陸にまたがる最大版図を作るとともに、「立法者」として内政を整備した。また、スレイマン=モスクを建立した。



7 オスマン帝国の統治



- シパーヒー……ティムール(小規模な封土)を与えられたトルコ人騎兵
- イェニチェリ……デウスルメ(征服地のキリスト教徒の少年を徴用)より採用
- 対ムスリム……カーディー(イスラム裁判官)によるカーヌーン(世俗法)・シャリヤ(宗教法)の行使
- 対非ムスリム……宗教別共同体ミット(納税と引き換えに自治・慣習の維持)

トルコの公衆浴場
イスラム世界では、礼拝前の清めや社交・娯楽の場として使われる重要な公共施設であり、その数が繁栄の指標でもあった。入浴には宗教・人種間の差別はなかった。

